

国際原子力機関（IAEA）の国際核物質防護諮問サービス（IPPAS）  
ミッション報告書及び同フォローアップミッション報告書の  
公開について（案）

令和元年12月16日  
原子力規制庁

1. IPPAS<sup>※</sup>ミッション

IPPASミッションとは、国際原子力機関（IAEA）が加盟各国の核セキュリティ体制の強化のために、核物質防護条約、IAEAのガイダンスの実施状況に関して勧告や助言を行うものである。

我が国は、2015年2月にIPPASミッションを受け入れ、同年6月に報告書を受領した（参考1）。同報告書の勧告及び助言への対応状況等の確認を受けるため、2018年11月から12月にかけてIPPASフォローアップミッションを受け入れ、本年4月に報告書を受領している（参考2）。

※ 「IPPAS」は、International Physical Protection Advisory Service（国際核物質防護諮問サービス）の略称。

2. 諸外国における報告書の公開状況

IAEAは、各ミッションの報告書の公開につき、当該国の判断に委ねている。米国、英国、ドイツ、フランス、スイス等では報告書全部を非公開としており、オランダ、スウェーデン、オーストラリア、カナダ等では核物質防護措置の具体的内容や個別施設のレビューは公開されていない。

3. 対応方針

IAEAは同報告書の公開につき、我が国（原子力規制委員会）の判断に委ねており、公にすることにより同機関との信頼関係を損なうおそれもないことから、オランダ、スウェーデン、オーストラリア等の例を参考としつつ、原文（英語）の報告書から、核物質防護措置の具体的内容や個別施設のレビューを除いて公開することとした。

(参考1)

## I P P A S ミッション報告書の概要

- 「国の核セキュリティ体制」、「原子力施設における核セキュリティの実施状況」及び「コンピュータセキュリティの実施」の3つのモジュール(項目)をレビューし、「日本の核セキュリティ体制、原子力施設及び核物質の防護措置の実施状況は、全体として、強固で持続可能なものであり、また近年顕著に向上している」との見解が示された。
- 日本の核セキュリティ体制及び訪問した施設について、良好事例とともに継続的な改善のための勧告事項及び助言事項が示された。

(I P P A S ミッション報告書の構成)

略語
目次
概要
I. 序
国レベルのレビュー
II. 政府の組織、責任の分担及び国際的責務
III. 法制と規制の枠組み
IV. 所管当局の役割と責務
V. 脅威評価及び原子力施設に係る妨害破壊行為等の脅威 (D B T)
VI. リスクベースの手法
VII. 物理的防護体制の維持
VIII. 核セキュリティ事案に対する計画、準備及び対応
施設レビュー
J A E A の施設
IX. 原子力科学研究所高速炉臨界実験装置 (F C A)
X. 核燃料サイクル工学試験所プルトニウム燃料技術開発センタープルトニウム燃料第三開発室 (P F P F)
XI. 浜岡原子力発電所
XII. 福島第一原子力発電所
コンピュータセキュリティのレビュー
XIII. 法制と規制の枠組み

XIV. 所管当局の役割と責任

XV. 浜岡原子力発電所でのコンピュータセキュリティの実施

謝辞

付録Ⅰ. 勧告、助言及び良好事例の一覧

付録Ⅱ. IPPASチーム編成

(参考2)

## I P P A S フォローアップミッション報告書の概要

- 「核物質に関する核セキュリティ体制の国家レビュー」及び「原子力施設レビュー」の2つのモジュールをレビューし、その際、「前回のミッション以降、日本の核セキュリティ体制には顕著な改善がみられる。その体制は、強固で十分に確立されており、改正核物質防護条約の基本原則に従ったものである。」との見解が示された。
- 日本の核セキュリティを強化し持続性あるものにするための勧告や助言が示されるとともに、他の I A E A メンバー国の核セキュリティ強化の参考として、幾つかの日本の核セキュリティ措置が良好事例として挙げられた。

( I P P A S ミッション報告書の構成)

略語集

目次

概要

I. はじめに

II. 2015 I P P A S ミッションの際の勧告及び助言への対応

核物質に関する核セキュリティ体制の国家レビュー (モジュール1)

III. 政府の組織、責任分担、国際的責務及び国際協力

IV. 法制と規制の枠組み

V. 所管当局の役割と責務

VI. 脅威の評価と原子力施設に係る妨害破壊行為等の脅威 (D B T)

VII. リスク情報を活用したアプローチ

VIII. 核物質防護体制の持続

IX. 核セキュリティ事象に対する計画及び準備並びに対応

X. セキュリティと原子力安全及び核物質計量管理とのインターフェース

XI. コンピュータセキュリティの国レベルのレビュー

原子力施設レビュー (モジュール2)

XII. 柏崎刈羽原子力発電所

謝辞

付録 I. 勧告、助言及び良好事例の概要

付録 II. I P P A S チーム編成

付録 III. ホスト国の対応者